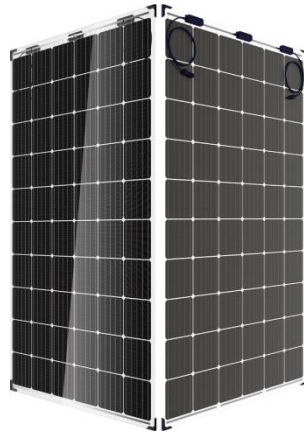


トリナ・ソーラー フランス初の低炭素両面発電ガラスモジュール採用プロジェクトに選定

太陽光エネルギーのトータルソリューションを提供する世界有数の企業 Trina Solar Co., Ltd. (以下「トリナ・ソーラー」または同社)は、EDF Renewables に、カーボンフットプリントの削減を可能にした同社独自の両面発電モジュール 16MW を供給することを発表しました。

EDF Renewables は現在、フランス南部のアラモン(5MWp)とサン＝パルゴワール(11MWp)に2つの太陽光発電所を建設中です。トリナ・ソーラーは、カーボンフットプリントの削減を可能にする両面発電型両面ガラスモジュール DUOMAX Twin(出力範囲 350~365Wp)計 44,790 枚をこのプロジェクトを出荷しています。EDF Renewables は、再生エネルギー分野におけるグローバルリーダーとして、プロジェクト開発、建設、O&M といった幅広い専門領域でビジネスを展開しています。

この2つの発電所は、フランスのエネルギー規制委員会(CRE)の太陽光発電プロジェクトの入札「CRE4.1」及び「CRE4.2」の特定の制約下で開発された、低炭素両面発電モジュールを採用したフランス初のプロジェクトです。この2つの太陽光発電所が運転を開始すると、フランス国内8,400人以上の消費電力を賅うことのできる100%再生可能エネルギーが創出されることとなります。発電所の面積は約18ヘクタールに上り、30年間にわたり年間約15,000トンのCO2排出量の削減が見込まれます。



DUOMAX Twin 発電モジュールは、最大25%の発電量を増加
1,500V システム電圧および突出した耐久性を付加

両面発電モジュール DUOMAX Twin の特徴は、単結晶 PERC セルを使用し、表面と裏面での発電による総出力の増加により、アルベド(反射能)と設置方法次第では最大25%のエネルギーの出力向上を見込めます。さらに、1,500V システム電圧が BOS コストの削減を可能にします。トリナ・ソーラーの両面ガラス技術はこれまでに26の特許を取得しています。高品質の太陽光モジュール用ガラスと封止技術で作られた丈夫な両面ガラス構造は、過酷な環境条件に耐え、太陽電池セルを高い湿度から保護し、PID(性能劣化)によるエネルギー損失を防ぎます。この製品は広範囲な用途に適用し、主要なトラックシステムにも利用可能です。

トリナ・ソーラーのモジュールビジネス欧州部門の責任者、ゴンザロ・デラビニャは「EDF Renewables が当社の低炭素両面発電型単結晶 PERC モジュール CRE4.1 及び CRE4.2 の入札という特定の制約下で開発中の2プロジェクトに選んでくださったことを光栄に思います。」と語りました。

16MW モジュールの供給は、2019年第1四半期末までに完了予定です。

■Trina Solar Co., Ltd. (トリナ・ソーラー) について

トリナ・ソーラーは、太陽光エネルギーのトータルソリューションの世界有数のプロバイダーです。1997年の創立以来100以上の国と地域に事業を展開しています。当社は、太陽電池モジュール、蓄電システム、スマートPVシステムおよびスマートO&Mの開発と共に、プロジェクト開発、資金調達、設計、施工、建設、O&Mなどのための独自のシステム統合ソリューションをお客様に提供しています。2017年末までに、世界中で30GW以上の太陽光発電モジュールを出荷し、2GWのソーラープロジェクトを世界中の送電網に接続しました。トリナ・ソーラーは、2018年にエネルギーのIoT(モノのインターネット)ブランド“Trina IoT”を立ち上げ、この分野のグローバルリーダーになるべく全力で取り組んでいます。詳細については、www.trinasolar.com/jpをご覧ください。

【本件に関するお問合せ】

トリナ・ソーラー・ジャパン株式会社 プレス担当: 春日(マーケティング)

TEL.03-6432-4007 (受付時間: 月～金 ※祝日を除く 9:00～18:00)